学校番号	１０１５

平成 31 年度　芸術科音楽

教科	芸術科	科目	音楽Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「Joy of Music」（教育芸術社）						
副教材等	自主作成教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「ピアノを演奏すること」「ピアノを演奏しながら歌うこと」を年間通して学習します。
・学習の到達度は毎回の授業でのレッスンや演奏発表で評価します。
・音楽の学習は自分が練習し発表するだけでなく、他者の演奏を傾聴することによって自分自身の振り返りにつなげ、さらなる向上を目指すことができます。

2　学習の到達目標

・「ピアノ演奏」という分野にしぼりこんで繰り返し練習し、独奏･弾き歌い･連弾等の演奏手法を身に付ける。
・発表会を頻繁に行うことで、人前での演奏に慣れ、また他者の演奏を傾聴する姿勢（音楽会参加のマナー）を身に付ける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	「ピアノ」という身近な楽器を基礎から学び､演奏発表を目指して主体的に練習に取り組もうとする。	音楽を形作っている要素を知覚し､それらの働きを感受しながら､ピアノ演奏における音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて表現意図を持っている。	創意工夫を活かした音楽表現をするために必要な歌唱･器楽の技能を身に付け、創造的に表現している。	音楽を形作っている要素を理解し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、同じ楽曲でも演奏者によって表現が変わることがわかる。
評価方法	観察 演奏の聴取 レッスン記録	観察 演奏の聴取 レッスン記録	観察 演奏の聴取 レッスン記録	観察

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期中間	ピアノ奏法の基本を学ぶ①	〔器楽〕〔歌唱〕 伴奏付きソルフェージュ	○	○	○	○	a:ピアノ奏法の特徴に関心を持ち、きちんとした基本技術を身に付けようと主体的に取り組んでいる。 b:基礎となる楽典の知識を理解し身に付けようとしている。 c:演奏者として身に付けた技術を表現に活かそうと工夫している d:聴衆としてのありかたや心構えを意識し聴いている。	観察 演奏の聴取 レッスン記録
前期期末	ピアノ奏法の基本を学ぶ②	〔器楽〕 DoddlePiano	○	○	○	○	a:ピアノ奏法の特徴に関心を持ち、きちんとした基本技術を身に付けようと主体的に取り組んでいる。 b:基礎となる楽典の知識を理解し身に付けようとしている。 c:「連弾」の表現について理解し創造的に演奏している。 d:聴衆としてのありかたや心構えを意識し聴いている。	観察 演奏の聴取 レッスン記録
後期中間	幼稚園・保育所の歌	〔器楽〕〔歌唱〕 こいのぼり ドレミの歌 さんぽ 教科書「童謡の弾き歌い」単元の曲目より選択	○	○	○	○	a:ピアノ奏法の特徴に関心を持ち、きちんとした基本技術を身に付けようと主体的に取り組んでいる。 b:基礎となる楽典の知識を理解し身に付けようとしている。 c:「弾き歌い」の表現について理解し創造的に演奏している。 d:聴衆としてのありかたや心構えを意識し聴いている。	観察 演奏の聴取 レッスン記録

後期期末	連弾を楽しむ	〔器楽〕 世界に一つだけの花 涙そうそう	○	○	○	○	a:ピアノ奏法の特徴に関心を持ち、きちんとした基本技術を身に付けようと主体的に取り組んでいる。 b:基礎となる楽典の知識を理解し身に付けようとしている。 c:「連弾」をするために必要な演奏技能を身につけ、より創造的に演奏している。 d:聴衆としてのありかたや心構えを意識し聴いている。	観察 演奏の聴取 レッスン記録

※　表中の観点について　a: 音楽への関心・意欲・態度　b: 音楽表現の創意工夫
c: 音楽表現の技能　d: 鑑賞の能力

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。